

IUI について（自費 18230 円）

精子を細いチューブを使って子宮腔内に入れることを人工授精といいます。

原液の精液には雑菌や子宮収縮を起こす物質が含まれていて、そのまま用いると腹痛や炎症の原因になります。そのため洗浄・調整して運動性のある精子のみを注入します。

人工授精の妊娠率は1回あたり約10%で、3から6回で妊娠しない場合は体外受精へのステップアップをおすすめしております。

【人工授精日決定まで】

- 奥様への感染を防ぐため、旦那様は推定排卵日の1週間前までに下記の血液検査をお受けください。B型肝炎、C型肝炎、HIV、梅毒、クラミジア（採血、自費約7000円）
- 推定排卵日の2、3日前に卵胞チェックとホルモン検査を行い人工授精日の決定をします。人工授精日の前々日の夜にブセレキュア点鼻薬（点鼻後、24～36時間で排卵します。自費12000円）を使用していただき人工授精のタイミングと排卵のタイミングが一致するようにします。生理不順のない方であれば1周期の受診回数は2～3回です。ブセレキュアにより高温期のホルモンが低下する可能性があるため、排卵後に黄体ホルモンを内服して頂きます。

【人工授精当日の流れ】

- 人工授精当日の所要時間は精子の調整に1時間、注入後10分の安静で1時間半～2時間です。

《採精》

- ・人工授精に用いる精子は、前日にお渡しした滅菌容器にて自宅から持参していただきます。
- ・容器に採取した精子は、常温でかまいません。
(特に冬季は外気温に影響されます。採取後すぐにタオルで包み洋服の内側に入れて人肌で持参してください。)
- ・採精後、「3時間まで」を目安として、来院してください。
- ・人工授精の前々日と当日の処置後にタイミングを取っていただく場合があります。また、可能であれば30分以内に2回射精して同一容器に採取してください。(精液所見が改善する可能性があります)

《精子の調整》

- ・精液を処置室で看護師が受け取り、ご本人様と一緒に容器の氏名を確認します。精子の調整中は患者間違い防止のため1人分の精液しか取り扱いしません。
遅刻の場合はキャンセルさせていただく場合がございます。



調整前の精液検査を行います。



精子が精液に含まれる細菌のエンドトキシンと触れないよう、精子スピッツにトランスファーカニューレを留置します。

	<p>SepaSpermSolutionにて単層攪拌密度勾配法により遠心分離します。</p>
	<p>遠心分離機で、30分遠心分離をして精子を濃縮します。</p>
	<p>トランスファーカニューレで精子沈殿を吸い上げ、洗浄液に投入します。</p>
	<p>5分間遠心します。 洗浄処理が完了すれば、時間がたっても精子の状態は、劣化しません。 やわらかい細いチューブにつなげます。</p>

《精液の注入》

- 「精子の調整」が終わりましたら、内診室へご案内します。
 注入前、医師がカーテン脇から患者さんの顔を見ながら氏名を確認し、調整後の精液を子宮の奥に注入します。
 この処置は、数十秒～数分で終わり、ほとんど痛みを伴いません。処置後は10分間の安静となります。
- 処置後、少量の出血が出るがありますが、当日の入浴は可能です。また家事や仕事も、通常通りで結構です。

《注意事項》

- IUI当日、抗生物質が3日分処方されますので、服用してください。
- 当日の費用は再診料、処方、エコー検査、精液検査、精子調整料として18230円の自費診療となります。
- 調整後の精子所見の結果や卵巣過剰刺激症候群のリスクが高い場合等、当日IUIがキャンセルとなる場合があります。その際は再診料、エコー検査、精液検査、精子調整料として、10800円の自費診療となります。